

旭田っ子だより

令和5年9月1日(金)

旭田小 学校だより No.5

文責:校長 天野 圭

【2学期もよろしくお願いたします】

長い夏休みも終わり、2学期が始まりました。子供たちは大きなケガや事故も無く、楽しく夏休みを過ごすことができましたこと、保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。

第2学期始業式では、子供たちに2つのお願いをしました。簡潔に記載いたします。

一つ目は、「行事がたくさんあります。取り組む前に、何のためにその行事を行うのか、その行事から自分は何を学びたいかについて、はっきりとした目標をもって臨んでほしいです。」

二つ目は、「課題を克服できた時やめあてを達成できた時は、自分なりの表現の仕方一杯喜んでください。また、見ている友達は手で拍手したり心で喜んだりしてください。」とお願いしました。

今年度は猛暑日が続き熱中症の危険性が非常に高いと報道されています。熱中症対策を講じながら、子供たち一人一人の資質・能力の向上に力を入れていきたいと思っております。2学期もどうぞよろしくお願いたします。

【行事がたくさんつまった2学期】

2学期はたくさんの行事があります。特に対外的な体育行事も多くなります。そこで、今回は、運動が身に付く「習熟過程」について記載したいと思っております。学校の体育の学習でもそうですが、運動が身に付く習熟過程には段階があることを御存じでしょうか。その段階を見取り、適切なアドバイ스가できれば子供たちの能力も向上すると考えます。

①動画等から自分が上達したい運動の一連の動きを見る ⇒ YouTube等で一連の動きを見る。

※ この段階がとても大切。上達したい気持ちを継続できるようなよい動画を見ること。

②動画等から特に自分がかっこいいと思う箇所を何度も見る。⇒ 動きを頭にイメージする。

③実際にその運動を自分でやってみる ⇒ 当然最初はできない。

④理想的な動きを動画で再確認する ⇒ 動きのイメージをしっかりと頭に入れる。

※ 何度も見て理想的な動きをイメージできるようになることがとても大切。

※ イメージを頭に入れる効果的な取り組みとして、リラックスできる場所で、リラックスした状態から、静かな音楽を聴きながら動画を見ることも。

④再度、運動を繰り返してやってみる ⇒ 100回中3回程まぐれでイメージどおりにできる。

※ 運動がまぐれで数回できる最初の段階。ここまでくると自主的に取り組むことが可能。

※ 指導者であれば、数回できたこの段階を大いにほめることが大切。

⑤さらに運動を続ける ⇒ 100回中50回程度できるようになる。

※ まぐれでできる回数が増えてくる。この時期、運動が楽しくなってくる。

⑥さらに運動を続ける ⇒ 100回中ほぼできる。

※ 運動が安定してきた時期。指導者は、大会時の環境を考えた環境トレーニングを指導。

⑦大会時の環境も考え、さらに運動を続ける ⇒ 自分に緊張感を与えながら運動が完成する。

※ ここまでくると運動することが心地よく、気持ちよく取り組むことができる。

繰り返し、動画等を見ながら動きを確認することが大切ですね。指導者として、その都度適切なアドバイスができたらいなと思っております。

【9月の主な予定】

- 4日(月) お弁当の日
- 6日(水) 宇宙教育6年 十文字星見台
旭田っ子タイム(縦割りゲーム)
- 7日(木) 食育5年 食の教室 2～4年
- 13日(水) 自由参観日
学校運営協議会
旭田っ子タイム(校長講話・歌)
- 14日(木) 陸上合同練習5・6年
PTA 役員会
- 17日(日) メディアコントロールデー

- 19日(火) マラソン試走
食育 記入日
- 20日(水) 旭田っ子(選手壮行会)
- 21日(木) 短縮5
秋の全国交通安全運動～30日
- 25日(月) 児童会活動日
定期券販売日
- 27日(水) 旭田っ子タイム(校長講話・歌)
- 28日(木) 町陸上競技大会5・6年
お弁当の日
- 29日(金) 町陸上競技大会予備日
お弁当の日

【町部活動地域移行検討会】

先日、中学校の部活動地域移行検討会に参加してきました。この内容について簡単ですが、保護者の皆さまと共有したいと思います。

令和4年に文科省(スポーツ庁)より

- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、部活動改革に取り組む。
- 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備する。
- 令和5年から令和7年までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動について、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指す という趣旨の内容です。

その内容を受け、本町でも今後の方向性や様々な整備について検討会が開催されました。実際すぐに、中学校の部活動を外部指導者やクラブチームへとは難しいところがありますが、早い時期から取り組んでいる本町の取り組みに何か協力できればと思っています。今後スポーツ少年団との関係や指導者の関係等から保護者の皆さまにも御協力いただく場面があるかもしれませんが、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

【校長のひとり言 その1】

8月13日に「下郷町二十歳のつどい」に参加した際、大変感心したことがありました。それは、参加した20歳の皆さんの参加態度です。返礼はきちんと行い、落ち着いて話を聞き、呼名の際の返事ははっきりとしていました。とても凛としたその容姿に心を打たれました。さすが下郷町と思い第2学期始業式で、その素晴らしさを子供たちに話したところでした。

【校長のひとり言 その2】

夏の高校野球決勝、慶應義塾高等学校が優勝しました。チームの合言葉は「エンジョイ・ベースボール」自分たちで考え、楽しむ野球でした。しかし甲子園で優勝するためには、見えないところでかなり努力しているのではないのでしょうか。エンジョイすることはとても大切です。しかし、努力の上にエンジョイがあり、エンジョイのために努力があると思います。エンジョイだけが先走らないことを祈ります。